

2023年10月31日

横須賀市長 上地 克明 様

2024年度横須賀市予算に対する  
日本共産党市議会議員団の要望

日本共産党横須賀市議会議員団

団長 大村 洋子  
井坂 なおし  
ふじその あき

## 2024年度予算要望書の提出にあたって

日頃からの市政への尽力に対し、心からの敬意を表します。

私たちの暮らしは新型コロナウイルス感染症の蔓延以降大きく様変わりしました。常にコロナ感染症予防を意識しつつ日々の活動を行う「Withコロナ」が徐々に定着しつつあると感じます。このような変化の時にあって、横須賀市民のいのち、健康、暮らしを守り、支える力強い市政が望まれています。

具体的には医療体制の充実、経済対策への支援、様々な悩み、相談に対する的確な情報提供と思いやりのある優しい対応、これらが欠かせません。「誰も一人にさせないまち横須賀」この思いを胸に2024年度も尽力していただくことを切にお願いいたします。

同時に世界的重要な課題となっている地球温暖化、国連事務総長は地球沸騰化と表現されましたが、この気候危機への対策が自治体へも求められています。今夏は観測史上最も暑い夏となり、10月にもかかわらず25℃を超える夏日が続きました。躊躇している時間はありません。ただちに具体的な手立てを加速度的に進めていく必要があります。今年6月に久里浜の石炭火力発電所の1号機が稼働しました。世界の流れに背くこのような出来事は恥ずべき暴挙であり、私たちは到底認めることはできません。化石燃料への拘泥は止め再生可能エネルギーへの大転換こそ時代の趨勢であります。

世界的重要な課題のもう1つは平和が脅かされている問題です。昨年2022年はロシアのウクライナへの侵略があり、今もって平和の兆しは見えぬ完全に泥沼化しています。さらに10月に入ってからには中東地域の大規模戦闘です。空爆によって幼い子どもたちや高齢者、女性が傷つき命を失う報道には胸のつぶれる思いです。加えて北朝鮮の威嚇攻撃、中国の覇権主義的台頭、アジアにおいても緊張関係が続いています。私たちはこのような世界中で起こる戦争・紛争に対して、力には力、軍事には軍事の構造ではますますエスカレートし、解決にはならない、外交による話し合いこそ真に求められていると考えます。政府の空前の防衛予算は物価高騰にあえぐ国民の苦難に目をつぶりアメリカいなりで軍需産業ばかりを富ませています。日米の基地機能強化、原子力空母の交代についても到底認めることはできません。

大きな視点でも身近な視点でも激動の情勢にあって、市民に一番近い地方政府すなわち、今こそ横須賀市政の本務をまっとうすることが望まれます。私たち日本共産党市議団は市長の施策に対し、今後も徹底熟慮し、是は是、非は非としていきます。市民こそ主人公この前提にぶれずに軸足を置きながら、2024年度予算編成に向けて以下の項目を要望いたします。